

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービスLove&Smile				公表日	令和7年1月20日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	活動内容によって環境の改善や人数をわけ支援しています。	部屋の大きさは変えることができないためこのまま人数と活動内容により環境を変えていきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		お子さまに寄り添えるよう職員配置をしています。	お子様の思いを受け取りやすい職員配置を心がけます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		その日のスケジュールや絵カードを提示でわかりやすくしています。 無駄な動きがなくストレスを感じにくい動線を確認しています。	トイレは狭さを感じやすい場合利用することが難しいです	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎日の清掃、消毒は欠かさず行っています。	継続していきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		状況に応じ個別支援を行います。	部屋数が少ないためクールダウンのための部屋を確保することが難しく1室の一部をクールダウンの場所に改善を考えています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		定期的に会議を開き共通理解をしています。	継続していきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		保護者からの意見を親身に受け取り速やかに改善できる範囲改善につなげる努力をしています。	改善できる範囲に限られているためできるところは速やかに改善していきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		些細なことでも気が付いたことを話し、全員共有し現在起こっている問題点などを把握しています。	朝・昼・夕方と会議をし些細なことでも意見交換をこれからも続けます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7		現在第三者による評価は行っていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		事業所内での研修やオンラインを活用し研修を行っています。	人材不足のため外部での研修に参加が難しいところがあります。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		ホームページにて公表しています。	プログラムが固定化されないようにしています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		面談を行い保護者の要望や困りごと、現在お子さまの様子を聞き取り状況にあった支援計画を作成します。	自宅や保育園、幼稚園、事業所でのお子様の様子が違う場合の分析力の未熟さを感じております。勉強を重ねてまいります。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		担当だけではなくたくさんの職員との関わりを持ち色々な角度からお子さまの様子を理解するようにしています。	これからも引き続きたくさんの職員がお子様へ寄り添い支援につなげるようにしていきます。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		担当者会議を開き共有し支援に繋げていきます。	日々忘れることがないように、お子様の特性や支援内容を把握し会議録など確認するようにします。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			うまく活用できるようにしていきたいと検討しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		関係機関や家族との連携を大切にしています。	まだまだ、ご家族に満足いく連携が取れていないところがあると感じております。色々なツールを活用しながら適切で具体的な支援内容を設定してまいります。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		話し合いを重ねその日の出来事や前日の療育内容など職員で共通理解しています。	今後も継続してまいります。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		お子様の成長に合わせて計画を見直しながら活動内容提供をしています。	お子様の思いを受け取りながら成長に合わせて遊びや療育活動の提供をしています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	専門的支援から個別の必要なお子様を支援し、また偏らないよう集団活動へも積極的に参加させています。	個別の大切さを各職員がもう少し学び今後にかしお子様への療育に生かしたいと思えます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		毎日、朝・昼・夕と申し送りやその日の活動内容を連携しています。	今後も継続していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		毎日、朝・昼・夕と申し送りやその日の活動内容を連携しています。	今後も継続していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		毎日、朝・昼・夕と申し送りやその日の活動内容を連携しています。	今後も継続していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		支援計画に基づき見直しをし会議を定期的に行っています。	今後も継続していきます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		関係機関との連携やお子様の様子を知るために必ず会議がある場合参加しています。	今後も積極的に参加します。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		7		現在行っておりません。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		送迎時など必ずその日の出来事やお子様の様子をお伝えし、また関係機関での様子の情報も共有しています。	今後も積極的に参加します。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		7		特別支援学校は連携がとりやすいが、市内小学校との連携をとることが難しく思うところがあります。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		7		現在設けておりません。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		7		現在交流活動は行っておりません。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		連絡帳やお迎え、送迎時にお子様の様子を必ずお伝えしています。	職員により「知らなかった」が無いように保護者からの情報や些細なことでもお伝えし共通理解を図ります。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		面談や連絡ツールを使い、助言や提案を行いご家族の状況や情報を共有しています。	ご家族が遠慮なく連絡できる体制をとり、情報共有ができるようにしたいと思います。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		面談時にご説明しています。	説明不足な部分も多々あると思います。そのようなことが無いよう努めてまいります。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		面談時に保護者から普段のお子様の様子を聞き取りお子様やご家族の意向を確認しています。	お子さまやご家族にの意向に寄り添えるようお話できる機会をもう少し増やせたらと思います。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		同意を得ています。	今後も継続していきます。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		面談をしお子様の様子やご家庭での対応や悩みを聞きながら現在の様子びあったアドバイスをしています。	助言不足等あると思いますが職員一人ひとりがいつでもお応えできるようにしていきます。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		7		現在実施しておりません。	保護者会は実施しておりません。今後希望がございましたら検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			保護者から相談等あった場合職員一同周知し速やかに対応を心がけております。	どんな些細なことでも保護者からの相談や悩み事を職員誰でもが対応できるように連携を図ります。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7			月1回のおたよりなど発行し、ホームページにも日々の活動を掲載しています。また、事業所ラインを使い保護者への連絡をとっています。	今後も継続していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			契約時保護者へ必ず説明しています。	留意し鍵のかかる棚へ収納し、開けても必ず鍵を閉めています。2人以上で確認しています。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			お子さまにわかりやすく見てわかるように提示したりゆっくり伝えるなどしています。	わかりやすく付箋やライン等を使い必要な事などの優先順位をつけて対応しています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7			現在実施しておりません。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			契約時保護者へ必ず説明しています。	わかりやすく説明や提示が必要かと考えております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			年4回の避難訓練を行っております。	地震・火事・津波・不審者とあらゆる災害を予想し、避難訓練を行っております。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			服薬の場合保護者から処方箋など提示していただいております。	職員一同がお子様の服薬について把握するようにしています。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			現在アレルギーのお子様のご利用はございません	現在アレルギーのお子様のご利用はございません。今後利用がある場合保護者から細かく注意点を聞きます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			事業所内での研修やオンラインを活用し研修を行っています。安全を確認し支援を行っています。	人材不足のため外部での研修に参加が難しいところがあります。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			契約時お伝えし、連絡方法を提示しております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			その日最後の会議で振り返りをし聞き取りをします。再発防止対策もその日のうちに提案改善しています。	お子さまの安全のため速やかに対応その日のうちの改善の心がけています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			虐待防止委員会を設置しています。	研修参加を積極的に行い、事業所内での研修を行い周知していきます。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7			現在対象のお子様はいません。	身体拘束マニュアル作成をし、契約時説明をしております。必要性がある場合は保護者への説明、同意を得たうえで支援計画へ記載します。	